

## 案件概要書

2013年4月23日

国際協力機構アフリカ部アフリカ第二課

**1. 案件名（国名）**

国名： ガーナ共和国

案件名： 国道8号線改修計画フェーズ2 (Project for Rehabilitation of National Trunk Road N8 Phase II)

**2. 事業の背景と必要性**

## (1) 当該国における運輸交通セクターの開発実績（現状）と課題

ガーナでは、道路、鉄道、水運、空港の各交通分野の中で、道路交通が全輸送量の約95%を占めているが、舗装率は幹線道路でも50%以下である(National Transport Policy,2008、Transport Sector Development Programme,2007)。また、ガーナ政府は幹線道路に軸重計測所を設置する等、過積載車両の取り締まり強化に取り組んでいるものの、国内の経済発展に伴う交通量や過積載車両の増加等により、幹線道路の38%が劣悪な(欠陥があり走行性が低下する)状態となっている(GHA Annual Report 2011)。本計画の対象区間である国道8号線は、首都アクラ及びテマ港からなるアクラ経済圏、鉱物開発が進みタコラディ港を中心とした西部経済圏、そして内陸部のガーナ第二の都市であるクマシ経済圏を三角形に結ぶ、ガーナの主要経済圏を南北に貫く主要幹線道路である。また流通活性化による南北格差の是正や、内陸国のブルキナファソ、マリ、ニジェール等への物流路としても重要な位置づけにある。国道8号線は、我が国支援により舗装整備され、経済成長に伴う通行車両の増加や過積載等により損傷が激しいが、物流量増加に伴う道路拡張及び延伸の必要性の急増により、ガーナ政府による道路改修事業の実施が困難な状況になっている。

## (2) 当該国における運輸交通セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

ガーナの中期国家開発政策、「Ghana Shared Growth and Development Agenda:2010-2013」では、インフラ整備は5つの重点分野の一つに挙げられている。具体的には、道路の修復・維持管理の強化、主要都市を結ぶ幹線道路の整備等に取り組むとしており、本事業は当政策に合致する。

## (3) 運輸交通セクターに対する我が国の援助方針

我が国の対ガーナ共和国 国別援助方針において、重点分野「経済インフラ（電力、運輸交通）」に位置付けられ、援助方針に合致する。また、TICAD Vの重点分野として位置付けられると想定される、経済成長促進のためのインフラ整備に貢献する。我が国はこれまで、有償資金協力「クマシーパガ間道路修復事業（1990年）」や無償資金協力「幹線道路改修計画（2002年）」により、南北を結ぶ回廊の活性化を支援してきた。国道8号線については、有償資金協力「産業道路修復事業（1987年）」の後、劣化に伴い、全区間176kmを対象に「アンウィアंकワンタ/ヤモランサ間道路改修計画予備調査」を実施した。その調査結果を踏まえ、現在、国道8号

線の北部 60km 区間において無償資金協力「国道 8 号線改修計画（2009 年）」を実施中である。さらに、労働集約型工法（LBT）による地方道路の整備を促進するための技術協力プロジェクトを 2013 年度から実施予定である。

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行、EU：西部回廊や東部回廊の道路整備等を実施。

新興ドナー：中国、ブラジル等による東部回廊の道路整備等を実施。

### 3. 事業概要

(1) 事業の目的

本計画は、国道 8 号線南部区間の改修を行うことにより、対象道路の円滑かつ安全な道路交通の確保を図り、もって対象地域の社会・経済活動の活性化に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名：国道 8 号線南部区間のうち、特に劣化が深刻な Assin Praso～Assin Fosu 区間を優先区間として検討を行う。

(3) 事業概要

1) 土木工事：施設（既設 2 車線道路の改修、既存橋の架け替え及び道路付帯施設一式）

2) コンサルティングサービス：詳細設計、施工監理

詳細は協力準備調査にて確認する。

(4) 事業実施体制

事業実施機関： ガーナ道路公団（GHA）（運輸省傘下）

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類： B

② カテゴリ分類の根拠： 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる道路橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

2) 貧困削減促進等： 特になし。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携： 特になし。

(7) その他特記事項： 特になし。

### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果：ガーナにおける無償資金協力「幹線道路改修計画（2002 年）」事後評価では、事業実施後に交通事故が増加する傾向にあったことから、教訓として交通安全向上への取組を行うことが挙げられた。

(2) 本事業への教訓：安全で円滑な道路交通を確保するため、市街地通過部への安全施設の設置等、交通安全を考慮した調査・設計を行う。

以上

〔別添資料〕地図

# 地図

